

東北日報

本誌は毎月二十日発行
発行所 石城郡平井町
印刷所 石城郡平井町
電話 四四〇番

鹿島村の小作爭議が

郡内各所へ飛火す

問題は極めて重大視され 平署では萬一を警戒

石城郡鹿島村に於て突如火蓋を切られた石城地方の小作爭議は、水不足の不況と經濟緊縮とに悩まされてゐた一般小作者にとつてはまさに「曉の夢を破る一點の警鐘」に似たものであつた。爲め郡下各地に同爭議は誘發されるものと見られてゐた矢先、鹿島の隣村渡邊村に火の手はあがり、同村小作人三十餘名は團結して此の程地主高木善枝氏に五割値下げを要求し目下紛糾を醸してゐるが更に江名町に於ても同様の騒ぎあり又泉村にも某大地主を中心に爭議惹起せんとするの形勢にあるので平署特高課では極度に狼狽し對策を講じてゐるが小作爭議は減少に起つた事のない地だけに今後の成行きに就ては尠なからず注目されてゐる。

中ノ作築港を

自力で斷行

明年から五ヶ年繼續で 江名町當局固い決心

石城郡江名町中ノ作港は縣町は止むを得ぬ事業的な補助による漁港修築が望みで縣補助の有無を問はず愈待なくなつたので同町は緊々昭和五年度から總工費十萬圓約五ヶ年の繼續事業として自力を以て築港に着手することになつた。右に注目されてゐたが同町河野町長は語る

中ノ作港に於ける漁業は益々發展し昭和三年には發動機船三十五隻だつたのが現在では實に五十一隻の多きに達してゐる中

ノ作漁港は江名漁港の擴に充つべき個所が好間村地に關し第一回の協議をなし漲の意味でどうしても行内を流れる好間川に引水すればはねにらぬ工費は各漁家の歩金を以て充て町に負擔となるのは僅か一期にきり當らないから五年に度豫算が増額するやうなことはなかつたが町が中心となり漁業組合が本據となるこの事業を遂げるのである江名漁業組合では去る十五日五年度豫算總會で既にこの事業の豫算を計上した江名港に際し中ノ作方が相當盡力して居るので今後中ノ作築港に對しては江名方面から同様の盡力あることは勿論である云々

借家民大會に

龜井代議士來平

大熱辯を試みる筈で 非常に盛會を豫想さる

社會民衆黨石城支部主催のは特に新進の闘士である龜井代議士第二回大會は既報の井代議士特派する事に決定如く来る二十三日午後六時三十分から平町聚樂館に開催されるが同黨で

湯本町上水道の

水路取入れに關し

好間村で首をひねる

湯本町では年々湯水時に飲師を招聘し工費料水に苦しめられるので二十萬圓を以て上水道の苦痛から逃れるべく二本道を計画實現を期すべく目松町水道を完成した吉田技下設計中であるが取入れ口

に充つべき個所が好間村地に關し第一回の協議をなし漲の意味でどうしても行内を流れる好間川に引水すればはねにらぬ工費は各漁家の歩金を以て充て町に負擔となるのは僅か一期にきり當らないから五年に度豫算が増額するやうなことはなかつたが町が中心となり漁業組合が本據となるこの事業を遂げるのである江名漁業組合では去る十五日五年度豫算總會で既にこの事業の豫算を計上した江名港に際し中ノ作方が相當盡力して居るので今後中ノ作築港に對しては江名方面から同様の盡力あることは勿論である云々

氣違ひ陽氣も

昨日迄・今日からは 冬の狀態に復した

今晩から氣温もグッと下る 變調に次ぐ變調の天候は十九日は昨報の如くにグッと八日に至つて全く小春日和下つて冬の狀態に復し、更と變つて花もさかうといふに今夜あたりからは温度もぐさぐさである、四十年來原因は今日まで北滿方面の氣違ひ天氣には何れも呆ケン制されてゐた高氣壓が小低氣のうづまきから本邦一帯には歳末氣分などは何處かへ飛んでゐるといふ氣候となつた譯だ、この暖かさも十七日を最高として十八日は氣壓も漸く下り十

數知れぬ心中者を

のんだ波立海岸

浪は物すこく岩をカム 或冬の夜の出來事

記者は今むしる凄惨な思ひ出を凝視してゐる、夜だ、彼方は眞つ黒い海岸だ、眼下數丈切り立つた岩壁の根を激浪は物凄しい勢ひでカミ砕いて居る數しれぬ人の命を奪つたこの瀆數知れぬ心中物を呑んだこの浪、それは或冬の眞夜中のことである

五戸會組織

一月早々に發會式 本郡に於ける蠶糸界は近年長足の進歩をなしたが最近町に父倉製糸場の設立をみ郡下養蠶家の進路は多難となつてきたので、郡下の蠶立蠶業學校出身者は結果として一歩進歩することになり新人永山直猪外數氏等發起となり顧問に松本健吾、高萩正一、酒井猶治氏を舉げ五日會を設立して之れが機關となし蠶糸及政治、社會問題に就て奮闘することとなつたが發會式は明春一月初旬盛大に平町に舉げべく目下準備中

納稅思想の

映西講演會開催 各町村主権や稅務署接援の納稅思想に關する映西講演會は一月十六日は平井町、十七日は小名濱、十八日は内郷の順序でかい催される由であるが講師は仙臺稅務監督局からくる筈である

江名町にも

小作爭議

平署万一を警戒 石城郡江名町小作人鈴木喜作外約三十名は水害のため女の姿はなかつた翌朝この海岸に若い男女の溺死体が浮き上つてゐた

新年文藝郷土傳説集

告げる弱き小さな善人の淋しい姿のやうだ、人の遠はこれのせい、自然の支配下にあつて不平をすて忍従に堪えひたすらに働いてゐることと思ふ時涙ぐましい感激を呼び起さずには居られぬ

ムチ阿康藥店

安くてキ、メの多い 電話四四番

貸切自動車の御用命は

昭和田タクシーへ

高級車で乗心地の好い

昭和田タクシー
電話は 三四三番
サシミ

現代醫藥界の驚異

飲まずに治るヨリサ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神経痛治療薬
外用 コリリサ

論より證據百聞一見に不如

醫學博士：内野先生實驗 醫師：吉松先生發見
定價：金四拾五錢、金九拾錢 送料：内地十二錢
特大瓶醫家用：二圓七十錢 海外四十五錢

特約店 大平屋藥舖
電話六四二番

回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込られ
試用薬と浸透療法の小冊子を郵送す
大阪市此花区吉野町一丁目 吉松醫院製劑部

冬の大きな賣出

御婚禮用品各種
丸帯、江戸袴、訪問着
御召、錦紗小紋、袴類
防寒用品各種
レデーコート、ジヨ
ール、羅紗オーバー、
既成コート、
新製ベビー用品陳列
ベビー洋服、メリヤス
肌着、袖ナシ、男女初
着、パンツ、各種

三井呉服店 町

平町田町

高久病院

電話五二三番

内科、小兒科 醫學士 高久 忠
外科、花柳病科 新瀉醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科

冬の學生服

是非 冬服 小學生服
コメ 出 黒
な 來 小
ら 生 食
自 地 小
信 縫 裁
を 共 用
持 申 分
で や か な も 服 冬 非 是
獎 お て 持 を 信 自 と 服 冬 非 是
分 申 分 共 縫 裁 地 生 小 小 小 小
(付ンボツ長)用生學小
錢十八圓一用歳八七號一
錢〇〇圓二用歳九八號二
錢〇〇圓二用歳十九號三
錢〇〇圓二用歳十一十號四
錢〇〇圓二用歳十二十一號五
錢〇〇圓二用歳十三十二號六
錢〇〇圓二用歳十四十三號七
錢〇〇圓二用歳十五十四號八
錢〇〇圓二用歳十六十五號九

各學校制定ボタン十五錢高
中學外套も十月中旬より賣出します
平二丁目

あかや洋服店
電話二〇五番

株式債券現物賣買

駒場株式会社
平町田町 電話四六五
店主 駒場 四郎

内外果實問屋

藤居商店
平町三丁目 電話五四三番

獨乙フシケル會社

製特用蓄音器、針着荷

第一、一本の針で五回も使用出來ます
第二、一本の針で高音低音自由
第三、舶來品として價格の安いこと
「ピアノ印」一箱(二百本入)五十錢
是非一度このピアノ印針を御試用願ひます
尚蓄音器の修繕は、安く、早く
御電話十九番へお掛け下さいれば早速お伺ひ致し
ます

大谷時計病院
電話十九番

例年通り吉例謝恩大興行

十九日替り

塚原小太郎大會
澤田清 熱演
前後篇全部上映

終列車の女
新井淳 佐々木清野
詩味豊溢人生哀詩

平館
日活 松竹

入場料等金十錢・等金十二錢・特等金拾錢均一

確實敏捷は(丸)の生命なり
和洋鐵金物問屋
磐城メトン株式會社特約代理店

釜屋久商店

平五丁目 電話九三九番
良品廉賣に勝る商略なし

冬服衿心

女學生通學用オーバ
小學生通學用オーバ
中學生成金ボタン外套
特賣

正札堂洋服店
平四丁目(停車場前通)

外科一般(入院隨意)
内臓外科専門
花柳病科
平町六丁目(橋際)

木村科醫院
電話三〇九番